

特集号

災害における対策!で減災! 大阪版

先月4月14日に熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し、最大震度7が観測されました。さらに、28時間後の4月16日には、同じく熊本地方を震源とする地震が発生し、再び最大震度7と観測されました。前震と本震が立て続けに起き、今現在も余震が続いています。

『地震大国、日本』 日本は地震大国です。日本の国土は、地震・火山噴火などの災害が発生しやすく、世界全体に占める日本の災害発生割合は非常に高いです。世界で発生した地震のうち、マグニチュード6以上を超える地震回数の割合は20.5%。4つのプレートに乗り、無数の断層が刻まれた日本では、何時でも何処でも大地震が起こり得るのです。

『南海トラフ巨大地震』 今年起こると予測されている南海トラフ地震。近畿全体に大きな地震が発生し大阪での最大震度は6強。大きな被害がでると考えられています。

そこで今回は、地震における対策、として『災害備蓄品』と『避難場所』について取り上げます。



1 災害備蓄品を確認しましょう!



◎堂島本社には
飲料水 2L が 12 本、
非常食品、毛布、枕、
レインコート、タオル
トイレ処理セットなど
2日分の備蓄品が
あります。
※最短で賞味期限は
2017年の4月です。



◎東大阪事業所には
1人3日分の非常用食品、
飲料水とブランケットが1
箱に入っており、計84箱
あります。
※賞味期限は2018年の11月
です。



2 避難場所を確認しましょう!

※大阪では大きく分けて3種類の避難所があります。

◆広域避難場所

大火災から避難する広いエリア。
津波から避難する場所ではありません。

◆一時避難場所

一時的に避難す公園など。
町会単位の一時的集合同所などにも利用。

◆災害時避難所

倒壊などにより家に住むことができない
方に生活の場を提供する学校など。
物資等の配給拠点にもなる。

	広域避難場所	一時避難場所	災害時避難場所
大阪堂島本社	うめきた東側一帯 中之島一帯	もと曾根崎市場	堂島地域集会所
東大阪事業所・工場	東大阪流通業務 地区周辺	楠根東小学校	楠根東小学校 楠根中学校

大阪本社と、東大阪事業所・工場の避難場所を調べました。まずは会社、自宅の『災害備蓄品』『避難場所』の確認を行いうことから始めていきましょう。そして自分たちの身は自分で守る。災害が起こったときに減災できるように今から備えてみませんか。

来月号は災害における対策『東京版』をお届けします!

